

40

独居老人などの見守りで、 社会のニーズに対応

Net M! 株式会社ネットミル

TEL.03-6240-8561 FAX.03-3894-2632

URL <https://www.netmil.jp/>

吉川 裕
代表取締役

代表者：代表取締役 吉川 裕

所在地：〒116-0011 荒川区西尾久5-7-12

資本金：800万円

従業員：8人

創業年：平成23年

業種：通信サービス業

事業内容：独居高齢者の安否確認・

見守りサービス

特許技術で、スムーズな見守りサービスを実現

同社は志幸技研工業（株）の子会社として平成23年に発足した。電力・電気工事を主力事業とする志幸技研が、ひと味違うサービス事業を立ち上げるためにネットミルを設立した。

ひと味違うサービスとは、いわゆる「見守り」に関するサービス事業で、一人で暮らすお年寄りの安否確認などを、独自開発のシステムを用いることでスムーズに行えるようにした。

開発したのは、一般財団法人・電力中央研究所の特許案件をベースに新たな発想やノウハウを加えたシステムで、（株）ネットミルが独自に特許を取得している。その仕組みは、見守り対象となる住居の電気使用量を把握、分析することで、居住者の生活状況を推察して、もし異常だと思えたら、警備会社などに通報し適切な対処につなげるというもの。電気使用量に関しては、使用総電力量と人が主体的にスイッチ操作を行った時に発生する電力量の両方を同時に計測・解析することで、見守り対象者の生活状況が分かるようにした。



生活リズムをグラフ表示

同社では一連のサービス/システムを社名と同じネットミルと名付けて販売してきている。平成26年に荒川区で採用されたのを皮切りに、徐々に普及浸透しており、納入実績は令和元年の夏時点で、全国で1000件の大台に達している。

異常はもちろん、日常の把握も可能に

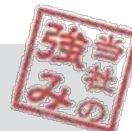
その令和元年夏、見守りサービスの一層の効率化・簡便化を図れる新装置を「ネットミルお元気安心システム」として市場に投入した。同装置は電力会社のスマートメーター（次世代電力量計）から電力データを無線で受け取って、そのデータをネットミルシステムのサーバに送信する機能を持つ。従来装置が、主に見守り対象者宅内の分電盤に据え付けるタイプなのに対し、無線化により、据え付け場所を選ばず、据え付け作業が不要など、スピーディーでスムーズな見守りサービスに直結する。また、サーバで解析された情報から見守る側へ「お元気情報」としてメールが毎日自動で配信され、これにより常に日常生活をリアルタイムで把握することが可能になる。

今後も独居高齢者が増え続けるのは必至であることから、同社では、電力会社、アパート等のオーナー・管理会社や、行政機関、各種高齢者施設などの需要を掘り起こしていく。さらに他社の見守りサービスが異常情報に照準を合わせているのに対し、同社サービスは、「異常情報を待つのではなく今の生活を見ることが出来る」（吉川裕代表取締役）との特徴を生かして、災害時の安否確認をはじめ、さまざまな用途開発も進めていく方針だ。



新装置「ネットミルお元気安心システム」

知的財産で守られたハード、 ソフト両面の成果を生かす



技術における独創性や先見性では他社に負けないものがあると自負している。いい例が、開発間もない無線タイプのネットミル。スマートメーターのデータを無線でキャッチし、電気の使用状況を、ほぼリアルタイムで把握できるようにした装置で、スマートメーターのA、B、Cの三つのルートのうちBルートを使っている。AとCはそれぞれ発電、新電力用となっていて、BがHEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）向けだが、Bルート使用の事例は極めて少なく、当社が1番手が2番手なのは。そのほか、エアコンの利用状況をリモコンのオンオフ操作からつかめるようにする仕組みも開発した。また、収集、蓄積された各ユーザーの電力使用状況はビッグデータといえる量になり、その分析から新たな知見も得られるようになってきた。こうしたハード、ソフト両面の成果物を生かし、増大する見守りサービスのニーズに応えたい。

◎主な認証・実績等

- ・平成24年 ネットミル商標登録
- ・平成30年 見守りシステム特許取得済
- ・令和4年 見守りシステム（Bルート）特許取得済